

自由で開かれたインド太平洋（FOIP）実現に向けた 国際協力の現状と今後

第 148 回運輸政策コロキウム ワシントンレポート XIII

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび運輸総合研究所におきましては、「第 148 回運輸政策コロキウム ～ワシントンレポート XIII～」をオンライン配信にて開催することとなりました。

つきましては、ご関心をお持ちの皆様におかれましては、ご参加を賜りますようご案内申し上げます。また、ご関心をお持ちの方々に広くご周知いただければ幸いです。

ご参加に当たりましては、大変恐縮ですが、申込み専用 URL からお申込みいただきますようお願い申し上げます。

敬具

記

○第 148 回運輸政策コロキウム ワシントンレポート XIII（オンライン配信）

日 時：2022年2月1日（火）10：00～12：00（予定）

開催方法：オンライン（Zoom ウェビナー）

テ ー マ：自由で開かれたインド太平洋（FOIP）実現に向けた国際協力の現状と今後

1. 講演およびコメント

講 師：岡本 泰宏 ワシントン国際問題研究所（JITTI-USA） 研究員

コメンテーター：兼原 敦子 一般財団法人運輸総合研究所 理事

上智大学法学部 教授

総合海洋政策本部 参与

国際法学会 代表理事

2. 質疑応答

司 会：山田 輝希 一般財団法人運輸総合研究所 主席研究員国際部長

参加費：無料

お申込み：下記の URL よりお申し込みください

<https://krs.bz/jterc/m/collo20220201>

（申込期限：1月28日（金）まで）



※お申し込みいただいた方には1月31日（月）に視聴用 URL を送付いたします。

概要：

中国が海洋進出を進める中で、我が国は、「自由で開かれたインド太平洋 (FOIP) を外交の重要な基本方針としている。その実現に際し、最近では、「QUAD (クアッド)」とよばれる日米豪印の連携も進んでいる。

そうした背景において、東南アジア各国では、経済面での依存が進んでいる中国を過度に刺激することは回避しつつも、中国の海洋進出に適切に対処する必要がある。とりわけ、軍事力とは別に、東南アジア各国の海上保安能力向上が喫緊の課題とされている。

そこで、本コロキウムにおいては、我が国海上保安庁が、海上保安能力の向上やそれ以外の災害防除など多様な事項について、東南アジア諸国との協力強化に係る現状と課題を報告する。とくに、FOIPの3本柱である①「法の支配、航行の自由」②「経済的繁栄のための連結性確保」③「平和と安定の確保」のうち、主として①と③に焦点をあてて、国際法や対外政策などの観点から論ずる。

講師：岡本 泰宏 ワシントン国際問題研究所 (JITTI-USA) 研究員

2004年海上保安大学校卒業、海上保安庁に入庁。以後海上（乗船）勤務と陸上勤務を交互に経験。2009年World Maritime University卒業、2017年第五管区海上保安本部総務課長補佐、2018年海上保安庁総務部国際・危機管理官付専門官、2019年4月から現職。



コメンテーター：兼原 敦子 一般財団法人運輸総合研究所 理事
上智大学法学部 教授
総合海洋政策本部 参与
国際法学会 代表理事



運輸総合研究所は日本財団の助成を受けて活動を行っております。

お問い合わせ：一般財団法人運輸総合研究所 国際部（担当：川上・高橋）
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-18-19（UD神谷町ビル）
TEL：03-5470-8415 FAX：03-5470-8401
E-mail：collo2@jttri.or.jp HP：<https://www.jttri.or.jp/>